

令和3年度第1回 ワーキングチームにおける意見交換の内容(回答)

2021.6.29

【訓練コースの現状と課題】

公共職業訓練

【HW 意見】

○金属加工科・機械 CAD オペレーション科・電気設備技術科

3Kのイメージを持つ求職者が多く、応募に至りにくい傾向(特に若者)

(ポリテク見学会も活用し、訓練内容・就職先の正確なイメージを掴んでもらうよう案内している)

高齢求職者の場合、未経験の職種への就職を希望する人が少ない

○住宅リフォーム科

ポリテクの中でも人気のあるコースなので、募集締切までには反響が出ると予想

一方、建築CAD、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーターの資格のみで応募可能な求人が限られる。

○ICT生産サポート科

人気の高いコースであるが、IT系の求人が少ない

求人については、未経験者の場合30歳くらいまでの方を求めることが多い

○ビル管理サービス科

ビルクリーニングなど比較的高齢者も就職可能な職種であり、応募者は一定数あると予想される

○パソコン・FP基礎科(日建学院)

駐車場が無く応募を断念するケースもある

(公共交通機関の場合、時間に融通がきかない為、子供の送迎が出来ないなど)

(機構回答)

⇒機械加工の現場で、クリーンで空調完備している現場がたくさんある。3K のイメージは応募者の持つイメージなので、そうではないことを訓練紹介の窓口でもしっかり伝えてほしい。

求職者支援訓練

【HWY 意見】

○介護福祉人材育成科(グローバル)

介護職は3Kのイメージを持つ求職者が多く、未経験者は応募に至りにくい傾向
高齢者は訓練を勧めても体力的に躊躇する方が多い

○ビジネスパソコン基礎科(松江パソコン)

PC基礎は習得している方が多いイメージあり。くりっくが行っているように、訓練のアピール部分を目立たせたチラシを付けた方が興味を引きやすいのでは

○即戦力になるための表計算実践科(くりっく/短時間特例)

夕方以降よりも13時～16時位の訓練時間設定の方が、本来対象のシフト減少、休業中の方も含め多くの方が通いやすいのではないかと？

(機構回答)

⇒【グローバルについて】

介護の仕事は近年、多種多様な働き方が広がっており、どのような形態の職場かによって、勤務時間や業務内容は様々である。3K のイメージは応募者の持つイメージなので、多様な仕事があることを訓練紹介の窓口でもしっかり伝えてほしい。

また、対人サービス業であり、仕事のやりがいをそこに感じることができる方には選択肢の一つであることもしっかり伝えてほしい。

⇒【松江パソコン教室について】

後日、松江パソコン担当者とともに改めて検討したい。

⇒【くりっく(短時間特例)】

昼間は既存の4ヶ月訓練が実施されており、教室が他にない。

その他、意見要望

【HW 意見】

- 求職者より、1ヶ月程度でパソコンの基礎の基礎が学べるコースがあると良い。
- 若者のペースについていけず遠慮するため、高齢者向けのパソコン訓練を行って欲しい
- 訓練説明会参加者のうち辞退した者の理由として「実施機関からの説明が専門的すぎて訓練について行ける自信がなくなった」がある。受け止め方もあるが、初心者にもわかりやすい用語で説明するなどの工夫も必要

（機構回答）

⇒短期間の訓練については、主に Excel を学ぶ1ヶ月訓練が9月に実施予定[松江]である。パソコンの基礎の基礎を学ぶ短期間コースについては訓練機関に投げかけてみるが、就職率が心配されることから、なかなか手を上げる訓練機関は現れないのではないかと思う。

高齢者向けの訓練は、やはり就職率が心配され、なかなか手を上げる訓練機関は現れないのではないか。

説明会参観者が辞退したことについては、各訓練機関に対して、どのような説明が問題だったのか説明いただきたいが、実践コースの場合、いたずらにレベルを下げるわけにもいかないことも考慮いただきたい。

（県回答）

⇒各訓練の設定については、求職、求人情報を踏まえたコース設定ができるよう努める。なお、シニア向けの PC コースは今年度東部校で実施する。

説明会については、初心者にわかりやすい説明を行うよう委託先に要請する。

1. 訓練環境(場所・時間など)

(1) 委託先の選定

【HW 意見】

- ・駐車場があればよい(松江)
- ・訓練時間より通所に係る距離・時間がネック(安来)
- ・公共交通機関利用者が受講できる訓練場所の設定(出雲)
- ・特定の訓練の施設が多いので別場所があってもよい(益田)
- ・積雪の関係から冬季以外の時期、場所は雲南市木次町等の管内の中心に近いところ(雲南)
- ・大田市以外で実施される訓練は遠方が多いことから希望者が少ない(石見大田)

(機構回答)

⇒松江について、求職者支援訓練の場合、松江駅前の「Will さんいん」が該当するが、少人数でも訓練実施をして頂いている現状もあり、コスト面からすぐの対応は難しい。安来、雲南、大田地域に関しては、引き続き委託訓練実施機関に対し、改めて求職者支援訓練(短時間訓練を含む)の広報を行うこととしたい。

益田地域では、これまでも制度が変更するたびに周知活動は行っているものの、動きはない。改めて求職者支援訓練(特に短時間訓練)の広報を実施したい。

出雲地域での理想は、出雲市駅周辺の施設で職業訓練を行うことだが、施設の賃賃に加え、駐車場の確保も考慮すると、毎回定員に見合う多くの応募者がいないと、コストの実現は難しい。現在でも、斐川コア学園、島根人材育成については、公共交通機関で通うことも比較的容易であるので、ハローワーク職員もそういった情報を共有していただき、求職者へもその周知を行っていただきたい。

ただし、求職者支援訓練では、給付金対象者でも交通費が自己負担になる割合が大きく、公共交通機関での通学は敬遠されるので、厚生労働省本省あて制度改善の提案をお願いしたい。(給付金対象外の求職者でも、交通費だけでも支給されると応募者は増えるのではないか)

(県回答)

⇒公募により委託先を選定しているが、応募する事業者が少なく委託事業者が固定化する傾向にある。また、経費、運営上の都合等から自己所有の施設で訓練を実施するケースが多く、訓練生の駐車場の確保、公共交通機関の利便性を考慮した施設の設定が十分とはいえない状況にある。

訓練内容を充実するためには、委託先の裾野の拡大が必要だということは十分に認識しており、今後も引き続き離職者等再就職訓練の広報を推進し委託先の確保に努めるとともに、委託先の選定にあたっては、駐車場、公共交通機関の利便性を考慮した選定となるよう配慮する。

(2)短時間、短期間訓練

【HW 意見】

- ・高年齢者が求職者の4割を占めており週3～4日程度や訓練時間9～15時であれば通所がしやすい(川本)
- ・スキルアップを図り早期就労希望や育児・介護中の求職者もあり、短時間訓練の需要はあると思われる(出雲)
- ・訓練期間が長いと言われる求職者もいるため、短期・短時間訓練の需要もあると思われる(益田)
- ・短時間及び短期間訓練への要望の声も聞かれる(石見大田)

(機構回答)

⇒求職者支援訓練(短時間訓練)の開設について引き続き訓練実施機関と協議するとともに、委託訓練実施機関に対し、改めて広報を行うこととしたい。

益田地域に関しては、短時間訓練の開設に向けて、訓練機関と引き続き協議したが、これまで同地域では実施していない分野でない限り、既存の訓練計画に追加するほど訓練ニーズはないと思われる。

(県回答)

⇒訓練時間、期間については、委託訓練実施要領の基準に基づき、訓練生のニーズ、求人情報を考慮し設定することが必要と考えている。労働局で集約しておられる各 HW のエントリーシートの結果は、訓練カリキュラムの設定に適宜活かしていきたいと考えている。

2. 訓練内容等

【HW 意見】

- ・45歳以上を対象にしたパソコン基礎コースの需要があると思われる(松江・浜田)
- ・ネットワーク知識を有する職員がいないといった悩みを持つ企業が一定数あると思われる、これに特化した訓練が良いのではないか(安来)
- ・福祉系(介護)にパソコンを加えた訓練を希望する(出雲)
- ・短期集中で訓練期間2ヶ月の介護訓練は関心を持つ求職者が多かった(出雲)
- ・造園、農業、車両系建設機械などの訓練があれば需要あると考える(出雲)
- ・大型一種ドライバー養成コースは2ヶ月間の短い訓練で毎日通学する必要もなく受けやすいという意見があった(益田)
- ・企業にとってデジタル化に対応できる人材を求められるため、IT 関連の訓練など必要(石見太田)

(機構回答)

⇒受講希望者が限られる中で年齢を制限した場合、就職率に大きく影響が及び、その後の訓練実施に影響が及ぶことから年齢限定コースは設定が難しい。高年齢者コースは就職率要件を緩和するなど、厚生労働省本省あて制度改善提案をお願いしたい。

⇒求職者支援訓練においてもネットワーク知識の学習を含んだ「情報分野」のコースを設定できないか訓練機関に向けて改めて広報を実施したい。

⇒福祉系(介護)にパソコンを加えた訓練は、求職者支援訓練においても、過去に出雲市内で実績があるので、講師、教室の確保ができればこうした訓練も可能ではないかと考える。

⇒松江地区では今年度中に介護系の短期訓練の実施計画があり、出雲地区においても再度設定に向けて訓練機関に声掛けを行いたい。ただし、受講した訓練生や訓練機関からは2ヶ月では就職活動や就職支援が慌ただしいという意見をいただいている。

⇒大型一種ドライバーコースや、農業・造園・車両系建設機械等のくんれんについては、求職者支援訓練では、こうした内容を実施できる訓練機関がない(再委託は禁止されている。)

⇒ポリテクセンターの施設内訓練では ICT 生産サポート科を実施しており、デジタル化に対応した人材育成を実施している。

また、求職者支援訓練でも、こうした情報分野の訓練について国から積極的な実施が求められており、実施機関の開拓にあたりたい。

(県回答)

⇒訓練コースは訓練生や求人企業の様々なニーズに応じて柔軟に設定するのが理想的だが、ニーズに対応できるだけの委託先の確保が難しいのが実態である。

いただいたご意見を参考にし、今後も引き続き委託先の開拓に努め、求職、求人情報を踏まえたコース設定ができるよう努める。また、訓練内容を充実するため、訓練コースのメインとなる教科だけでなく、ご指摘のあった、福祉系(介護)のパソコンを加えた訓練など、一つの訓練コースでより広範囲のことが学べるようなカリキュラムの設定も検討する。

特に2021骨太の方針でも示されたようにデジタル人材の育成は重要なテーマと考えているので、訓練生等の多様ニーズに対応できるカリキュラムの設定に努める。

3. その他

【HW 意見】

・訓練チラシの作成にあたり HW 職員も一緒に構想を練らせてほしい(松江)

(機構回答)

⇒施設内訓練については、チラシの作成についてご意見・ご要望があれば、いつでも対応したい。一緒にチラシの構想を考えるのはやぶさかではない。

求職者支援訓練については、昨年度からハローワーク松江にて、募集開始時点で訓練機関、ハローワーク(労働局)、機構支部との3者打合せを行い、より効果的な募集について話し合いを行っている。

また、ハローワーク出雲・益田では、従来からそれぞれ地元の訓練機関が直接各ハローワーク担当者と連携して募集活動を行っているとしている。

(県回答)

⇒チラシは広報の重要なツールである。よりよいチラシを作成するためには、様々なご意見を伺うことが必要と考えている。チラシの作成で改善が必要な点をご指摘いただければ、チラシの作成に活かす。